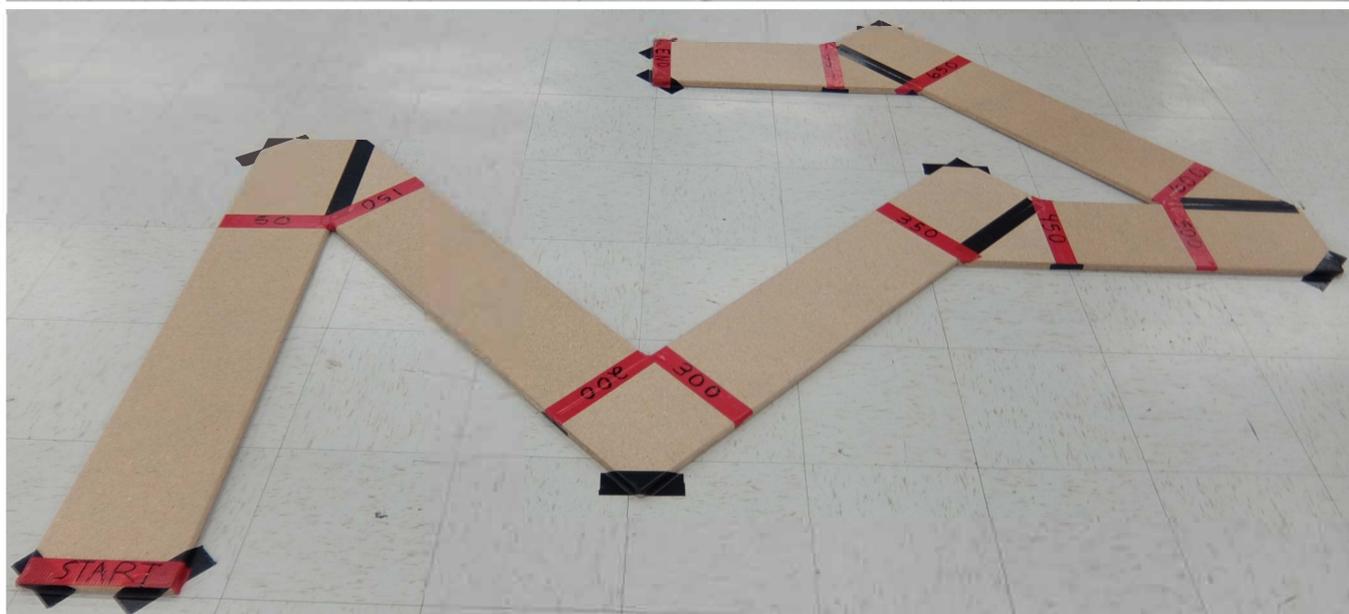


a-MAZE-ing Challenge 神戸大会2026ルール

木の板で組み合わせて作られたコースの上を、地面に落ちることなくどこまで走り抜けるかを競う競技です。このチャレンジでは、ゴールまで走破した時の残り時間がボーナスポイントとして加算されるので、いかに素早く正確にゴールを目指せるかが勝負の鍵となります。



上:小学生の部(2015年アメリカ大会仕様) 下:中学生の部(2015年アメリカ大会仕様)

※画像はそれぞれ過去に使用されたトラックで、コースは大会毎に変更されます。

● 競技ルール

- ・競技には完全自律型ロボットを使用してください。(コントローラーなどの遠隔操作は不可)
- ・ロボットに外部センサーを使用することは禁止です。(エンコーダーのような内部センサーは使用可)
- ・プレイヤーのみロボットに触れることができます。
- ・1回のプレイ時間は2分で、時間内なら何度トライしても構いません。
- ・リトライする時は必ずスタート位置にロボットを戻してからやり直してください。

● 得点

- ・コースに設けられた各直線・曲り角を通過することにより得点が入ります。
- ・2分間の走行のうち一番良い結果をそのプレイの得点とします。
- ・時間内にゴールまで走破した場合のみ、残り時間の秒数(整数部分)がボーナスポイントとして加点されます。
- ・5回のプレイを行った後、5回分の得点の合計がチームの総合得点となります。

項目 部門	1つ目の 直線	1つ目の 曲り角	2つ目の 直線	2つ目の 曲り角	3つ目の 直線	3つ目の 曲り角	4つ目の 直線	4つ目の 曲り角	5つ目の 曲り角	5つ目の 直線	6つ目の 曲り角	ボーナス ポイント	合計得点
小学生 の部	50	100	50	100	50	100	50	—	—	—	—	+ α	500+ α
中学生 の部	50	100	50	100	50	100	50	100	50	100	50	+ α	800+ α

● チェックイン

ロボットの大きさが規定サイズ65,030cm³を超えていないかどうか、競技に入る前に確認します。

計測の方法はリンク先の動画を参考にしてください。→ <https://www.youtube.com/watch?v=QYRa9uFiuBI>

● トラック詳細

- ・トラックには、幅24cm・高さ2cmのコンパネ(合板の木材)を使用します。
- ・直線の長さは様々で、左右に45°・90°・135°のいずれかの曲り角から構成されます。

LAST UPDATE 2026.02.23

RoboRAVE
 KOBE
 Robotics Education and Competition